

研究協力のお願

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食道癌に対する内視鏡治療後の定期的な内視鏡検査フォロー中に発見された深達度 T1a-MM 以深の食道扁平上皮癌の臨床病理学的特徴

1. 研究の対象および研究対象期間

研究対象：2015年1月から2024年10月に昭和大学江東豊洲病院で治療が施行された食道癌の患者さんであり、かつ以前の内視鏡検査が13カ月以内に行われていた方。

研究対象期間：2015年1月1日から2024年10月31日まで

2. 研究目的・方法

食道癌は世界的に10番目に有病率が高い癌であり、その死亡率は全癌種の中で5番目とされ比較的悪性度の高い癌です。中でも進行癌で見つかった場合の5年生存率は20%程度であるため、早期発見が極めて重要となります。

本邦における食道癌の9割以上は食道扁平上皮癌(SCC)であり、早期発見された場合の治療は内視鏡治療となります。治療後は、病変の病理結果に基づいて半年から1年に1回の内視鏡検査フォローがガイドラインにて推奨されています。異時多発癌の多い食道扁平上皮癌においては、この内視鏡検査によるフォローアップが極めて重要となります。実際、ESD治療後に半年から1年に1回のペースで内視鏡検査を行うと約2.2-9.0%/年で異時多発癌が見つかることが報告されています。多くの異時多発癌は、深達度 T1a-EP/LPM で発見されますが、深達度 T1a-MM もしくは T1b-SM 以深で見つかる症例も存在します。深達度 T1a-MM 以深の SCC はリンパ節転移の可能性が生じるため、患者の予後に影響する可能性があります。

そこで本研究では、ESD後に半年から1年に1回の内視鏡検査フォローをしていたにも関わらず、深達度 T1a-MM 以深で発見された食道扁平上皮癌の臨床病理学的特徴を明らかにすることを目的としました。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年10月31日まで

4 . 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、既往歴、アルコール多飲歴、まだら食道の有無、喫煙歴、食道癌に対する内視鏡治療回数、追加治療の有無、追加治療されていればその具体的な方法、PS、前回の病変の部位、腫瘍径、肉眼型、分化度、浸潤様式、深達度、脈管侵襲の有無、垂直・水平断端、今回の病変の部位、腫瘍径、深達度、脈管侵襲の有無、垂直・水平断端、今回の病変発見までの月、局所再発・遠隔再発の有無をカルテデータから確認させていただきます。

5 . 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6 . 研究組織

研究責任者 江東豊洲病院消化器センター 助教（医科） 田中一平

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院消化器センター

氏名：田中一平

住所：〒135-8577 東京都江東区豊洲5丁目1-38

電話番号：03-6204-6000